



福中 満

財政健全化対策

問 さまざまな財政指標を見ても、本町の財政状況は極めて厳しい状況にある。本町の財政健全化に向けて、今後どのような対策を考えているか。

答 本町の財政状況については、今後も楽観視できない状況が続くものと認識をしている。あるお金で予算を組むということとを基本に行政運営を進めたい。

今後の予算編成においては指標の改善を図るべく、経常経費の削減に向け、聖域なき事業の再編は必須となると考えているが、住民の生活を守るという公約の一端を踏まえたと、事業の改廃には十分な議論と周知期間を設ける必要があると考えている。

- 一、財政健全化対策
- 二、ダイオキシンの問題
- 三、人口減少問題

ダイオキシン問題

問 豊能郡環境施設組合のダイオキシン類を含む廃棄物処理問題の今後の対策の基本的考えはどうか。

答 これについては現在、施設組合において豊能町内での分解による無害化処理をするべく、処理場所や処理方法について検討を進めており、早急に決定をしていきたいと考えている。

費用についても、当然国に特別交付税を要望していく。特別交付税が付されない場合であっても施設組合単費にて処理をしていかなければならないと考えている。

人口減少問題

問 本町では、現在もお急激な人口減少が続いている。それにより地域



経済の縮小、子どもの数の減少、町税収入の減少等、今後さまざまな厳しい状況が懸念される。これにどう対策を講じていくか。

答 将来人口の推計によると、本町の人口は今後も減少傾向で推移していくことが想定されており、人口減少がもたらす地域社会への負の連鎖を防止していかなければならない。こうした中で「1万人だからできるまちづくり」をテーマに掲げて、4つのアクションプランを確実に実行して1万人の住民の皆様とともに誇りあるまちづくりを進めていきたいと考えている。

一般質問



原田 健志

学校跡地、利用計画

問 学校跡地利用については、町所有の土地、建物等の状況を勘案されているものと思われるが、利用計画の進捗よく状況はどのようになっているか。

答 老朽化する公共施設等への対策として、さらなる選択と集中を行う必要があると認識をする。旧学校施設は地元の意向を踏まえた上で、行政としての活用方を検討し、限られた財源を有効に活用し、町内公共施設の適正配置に取り組んでいかなければならない。

以上のことから、現在、住民アンケート調査を実施中であり、その調査結果も踏まえ、公共施設等総合管理計画を今年度中に策定したいと考えている。

- 一、学校跡地、利用計画
- 二、持続可能なまちづくり、周辺市町との広域連携
- 三、学校の現状と課題

持続可能なまちづくり、周辺市町との広域連携

問 広域連携を、例えば消防、教育、保健など、実施している連携を進めていくことが一つの答えではないかと思うが。

答 連携は本当に大切なことだと思っている、ただし費用負担が関係してくる。やはり1万人の小さな町で、今、フルセツトをめざしているが、果たしてそれがいいかというのが広域連携というところになるかと思う。

ただ、規模があつて、なかなか言うほど易くない。趣旨については、私も職員も十分理解しているので、可能なところからやっつけていきたい。

学校の現状と課題

問 教育長は能勢の教育も知っておられる中で、ちよつと離れ、戻ってこられて、何となく疑問に思ったことを大事にしてほしい。ぜひ今だからできることをしてもらいたい。

答 学校に、子供を通わせている保護者でなくても、地域住民から本当におらが村の学校という、学校に対する親近感、愛着を持たれるようにしたい。

そのためには、学校に対する信頼と尊敬が一番大事である。皆さんと力を合わせながら、課題を一つ一つ解決していくことによって信頼と尊敬を築いていきたい。